

会議等議事要旨記録票

日 時	令和3年1月28日（水曜日）午後1時00分から午後2時00分まで		
場 所	28C会議室（Web会議）		
会議等名	感染症診療チーム会議		
議 題	レジストリー研究と後遺症について		
参 加 者	賀来座長、チームメンバー、外部アドバイザー、松永展明先生（国立際医療研究センター）、森岡慎一郎先生（国立際医療研究センター）、福祉保健局関係部長・課長等		
配付資料	別紙のとおり		
結 果 ※当てはまる項目にチェック	<input type="checkbox"/> ①事案について了承（意見なし） <input checked="" type="checkbox"/> ②事案について了承（意見あり） <input type="checkbox"/> ③事案について要修正 <input type="checkbox"/> ④事案について不承諾 <input type="checkbox"/> ⑤別紙にて情報共有（説明のみ）		
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・脳血管疾患、糖脂質疾患などの基礎疾患がある場合、死亡や重症になる方が多い傾向がみられる。 ・コロナ感染症から回復された患者様への調査の結果、2か月経過後は48%、4か月経過後は27%の患者様に何らかの後遺症が認められた。 ・特に呼吸数、倦怠感、嗅覚障害の3つは長期に現出しており、4か月経過後も約10%の患者様で認められた。 ・脱毛に関しては、約4人に1人ぐらいの患者に見られ、そのうちの64%の患者様は、調査時にもまだ脱毛が改善していなかった。 ・若年者で軽症でも、一定数コロナ後遺症で苦しんでいる方がおり、後遺症の症状が長引き、回復者の生活の質を低下させることは問題である。 ・コロナにそもそもかからないことが、後遺症の最大の予防であるということを若者に啓発して、行動変容を促していくことが大事になる。 ・若者への行動変容につなげるためには、実際の患者さんが、どういうことに困っているのかなどの情報が大事になるのではないか。 ・来週のモニタリング会議では、背景因子ごとの重症化／死亡率を紹介し、若い人の後遺症の内容につなげていく。レジストリーについては重症化因子のグラフと、飲食、3密の割合の数字を取り上げることが検討する。 ・今後、変異株による感染症の重症化などの課題が出てくる場合、変異株の重症度等についても様々議論することがあるかと思うが、引き続きよろしくお願ひしたい。 		
作 成 者	計画課 田所	確 認 者	担当課長 田中